

「第5回多鯨ヶ池手づくりいかだレース」を開催しました

【日時】 2020年7月24日

【場所】 多鯨ヶ池湖畔

【内容】 令和4年度「日本一のすなば」魅力Oごとイベント」として補助金を受けて、ジオサイト「多鯨ヶ池」の魅力発信を目的にイベントを開催しました

【参加チーム】 11チーム

- 優勝 クワトロフィッシング（サカイ引越センター勤務家族） タイム：3分58秒
過去最速タイムで見事2年連続優勝でした！



- 第2位 くじら丸 タイム：5分16秒

過去2回の優勝の実績チームも平均年齢65歳？では2位に甘んじてしまいました！



- 第3位 サカイ引越センター・フレッシュチーム タイム：6分17秒
初参加で見事3位！ 若さとチームワークで！



- レディース賞 らっきょう女子会 タイム：7分17秒
毎回出場です！ パワフルな女性軍団です。



- ファミリー賞 中ノ郷トルネード
初参加でファミリーの息がぴったり！



- 学生賞 福部未来学園グラグラ
5年生の仲間で結成したスポーツ軍団。



- ベストパフォーマンス賞 サカイ引越センターS Lドライバーチーム
上位入賞を期待されたチームでしたが4人の息が少し合わず？



- 可愛いで賞 福部未来学園イルカ
小学5年の女子2名と先生2人のチームでそれでも8番／11チーム中・8分02秒でした。



●頑張ったで賞

日替わりランチ

元気な二人のチームですが、二人では4人のチームには大きく届かず！
来年には再編成で挑戦してください。



●ご苦労様賞

サカイ引越センター・マリリンモンロー

若いメンバーの編成でしたが如何せんイカダが途中で壊れ・残念！



●デザイン賞 農協リベンジャー

農協らしく「コンテナ」イカダで挑戦でしたが水の抵抗が大きく・残念！



●本部席・MC のお二人（高木啓一さんと石谷依利子さん）

毎年ながらお二人の軽快な掛け合いでイベントを盛り上げてくれました！



2022年7月27日 日本海新聞でいかだレースが紹介されました。

日本海新聞

いかだレース 笑いに包まれ

多福
鯉ヶ部
池。

手作りいかだをこいで速さを競うレースが24日、鳥取市福部町湯山の多鯉ヶ池で開かれた。出場者がユニークないかだで必死にオールをこぐ姿に、会場からは温かい声援が送られた。

同池や地域の豊かな自然をPRしようと、地元有志でつくる浜湯山・多鯉ヶ池活性化委員会が主催。当初は鳥取県内の18チームが出場する予定だったが、新型コロナウイルスの感染急拡大で11チームが出場した。

レースは池の東側に浮かぶ「小島」と呼ばれる島を周回する約400mのコース。2～4人で1組となり、発泡スチロールや段ボールなどで作ったいかだを池に浮かべタイムを競った。プラスチックのスコップをオール代わりに懸命にこぐ姿もあり、会場は笑いに包まれた。

大会初となる3分台のタイムをたたき出した同市古海の会社員、石場智大さん(35)は、子どもやその友人の4人組で出場。「風があったけど、練習通り息を合わせてゴールできた。きれいな名所の楽しいレースなので多くの人に知ってもらいたい」と話した。(松本妙子)



手作りのいかだに乗り、懸命にオール代わりのスコップを動かす出場者